

神奈川県立博物館研究報告（自然科学）投稿規定

1. 投稿資格

論文の投稿者は原則として当館の職員・外来研究員・名誉館員に限られる。ただし、当館学芸員が共著者である場合、または、当館の館蔵資料に関する論文の場合はこの限りではない。

2. 投稿論文の種類

○総説 (Review)

自然史（誌）科学、博物館学に関する内容、学史、技術に関して概観し、論評を加え、知見や展望、あらたな研究の方向性などを示唆提供するもの。

○原著論文 (Original Article)

自然史（誌）科学、博物館学に関するオリジナルな論文。

○短報 (Short Article)

原著論文と同じ内容で短いもの。刷り上り4ページ以内とする。

○報告 (Report)

自然史（誌）科学研究、博物館活動や博物館マネジメントに関する内容、技術、実践例について紹介し、その展望や応用を示唆提供するもの。

○資料 (Notes)

自然史（誌）科学、博物館学に関するデータを提供し、以降の学術活動に寄与するもののうち、分布記録や標本、機器等の目録や一覧など、特に資料的要素の高いもの。

3. 二重投稿・著作権

他の雑誌に掲載済み、または投稿中の原稿は投稿できない。ただし、「神奈川県立博物館研究報告（自然科学）」にふさわしく書き直されたものはこの限りではない。

著作権が他の学会・出版社にある出版物により図・表などを引用する場合は、著作権問題を著者自身で解決しておくものとする。

掲載された論文の著作権 (copyright) は、神奈川県立生命の星・地球博物館が所有する。

4. 投稿の手続き

(a) 原稿（タイトル、氏名、所属、アブストラクト、キーワード、本文、図表のタイトル、キャプション、ランニングタイトル）は、テキスト形式で提出する。図や写真等を画像データとして提出する場合には、EPS, PICT, TIFF, JPEG, BMP のいずれかの適する形式で提出する。

(b) 提出には以下のメディアを使用する。フロッピーディスクは3.5 インチのディスクを MS-DOS またはマッキントッシュ形式でフォーマットした 1.44 MB のもの。画像データなど大容量のファイルを提出する場合には、MS-DOS またはマッキントッシュ形式でフォーマットした 128 MB, 230 MB, 640 MB の光磁気ディスク (MO) または、ウィンドウズ 95, 98, MacOS で再生可能な CD-ROM, CD-R, CD-R/W, DVD。

(c) A4 判用紙に 10.5 ポイント、半角 80 字（全角 40 字）× 30 行（またはそれ相当）でプリントアウトしたものに、字体の指定や文字飾り、特殊文字などの指定を朱書きで行ない、コピーとあわせて 2 部提出する。また、ハイフネーションが必要な場合、その位置は初校で著者の責任において指示を行なう。

(d) 総説 (Review) および原著論文 (Original Articles) と短報 (Short Articles) は、和文、英文いずれの場合も、タイトル（和・英）、著者名（和・英）、所属（和・英）、摘要（和）、アブストラクト（英）、キーワード（英）、ランニングタイトル（英）を明記する。報告 (Report) および資料 (Notes) の場合は、タイトル（和・英）、著者名（和・英）、所属（和・英）、キーワード（英）、ランニングタイトル（英）を明記する。

(e) 論文の体裁は別紙「著者への指針」に従うこと。「著者への指針」については編集事務担当が管理する。

(f) 原稿は著者の責任で、十分吟味し、推敲したものを提出する。可能であれば、外部の適当な専門家に原稿の通読をしてもらうのが望ましい。著者によるラフレイアウトがある場合には、原稿とあわせて提出する。

5. 受付

事務担当に原稿が提出された日を受付日とする。

(2004年1月一部改正)